

2017年3月期決算説明会

株式会社 安永

証券コード：7271

2017年6月1日



将来見通しに関する注意事項

本資料に記述している業績予想および将来予測は現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。

その為、様々な要因によって、実際の業績が記述する将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

したがって、投資に関する最終決定につきましては上記を踏まえ、投資家の皆様ご自身のご判断で行われるようお願い致します。

本資料に掲載する情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願い致します。

- **トピックス**
- 2017年3月期決算概要
- 2018年3月期業績予想
- 第5次中期経営計画



GM「サプライヤー・オブ・ザ・イヤー」受賞

米ゼネラル・モーターズ社から、「品質」「納期」の両面で「安定」「信頼」の評価をいただき、「2016年サプライヤー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。
全世界約2万社のサプライヤーから、118社が選ばれました。
当社にとって、4回目の受賞となりました。



検査測定装置の売上過去最高

2016年度、機械装置事業の検査測定装置が過去最高の売上を記録。
2017年度も、引き続き車載IC用外観検査装置の受注が好調。
5月、本社工場内にエンジニアリングセンターを設置し、生産体制を強化。



車載 I C 用外観検査装置
LI900W



エンジニアリングセンター内 組立場

- トピックス
- **2017年3月期決算概要**
- 2018年3月期業績予想
- 第5次中期経営計画





検査測定装置



ワイヤソー



エアーポンプ



ディスクポータ



コンロッド



シリンダーヘッド



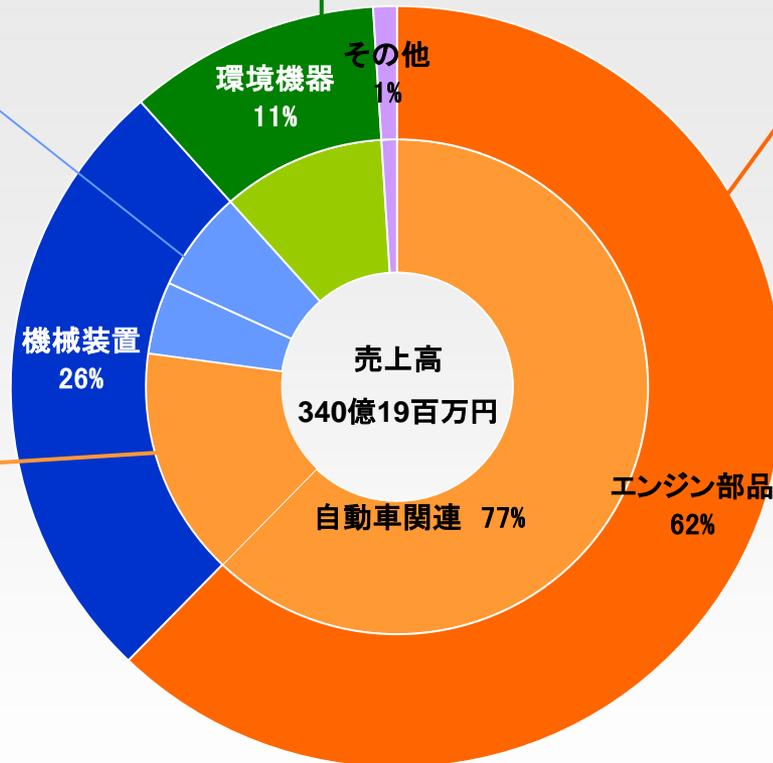
シリンダーブロック



カムシャフト



クランクシャフト



工作機械

2017年3月期決算トピックス



機械装置事業において検査測定装置の売上が過去最高。
 タイ工場が本格稼働し、売上、利益に貢献。
 各セグメントにおけるプロダクトミックス、原価低減活動等が増益に寄与。
 海外子会社の外貨建て借入金に対する為替評価損は縮小。

(単位:百万円)	16年3月期 実績	17年3月期			対前年 増減額
		上期	下期	通期	
売上高	30,913	16,069	17,949	34,019	3,106
営業利益	373	636	832	1,469	1,095
(対売上比)	(1.2%)	(4.0%)	(4.6%)	(4.3%)	
経常利益	△ 158	148	976	1,125	1,283
(対売上比)	(△0.5%)	(0.9%)	(5.4%)	(3.3%)	
当期純利益	△ 614	△ 46	388	341	956
(対売上比)	(△2.0%)	(△0.3%)	(2.2%)	(1.0%)	

決算概要：セグメント別売上高・営業利益（連結）



売上高の（ ）は構成比％ 営業利益の（ ）は営業利益率％

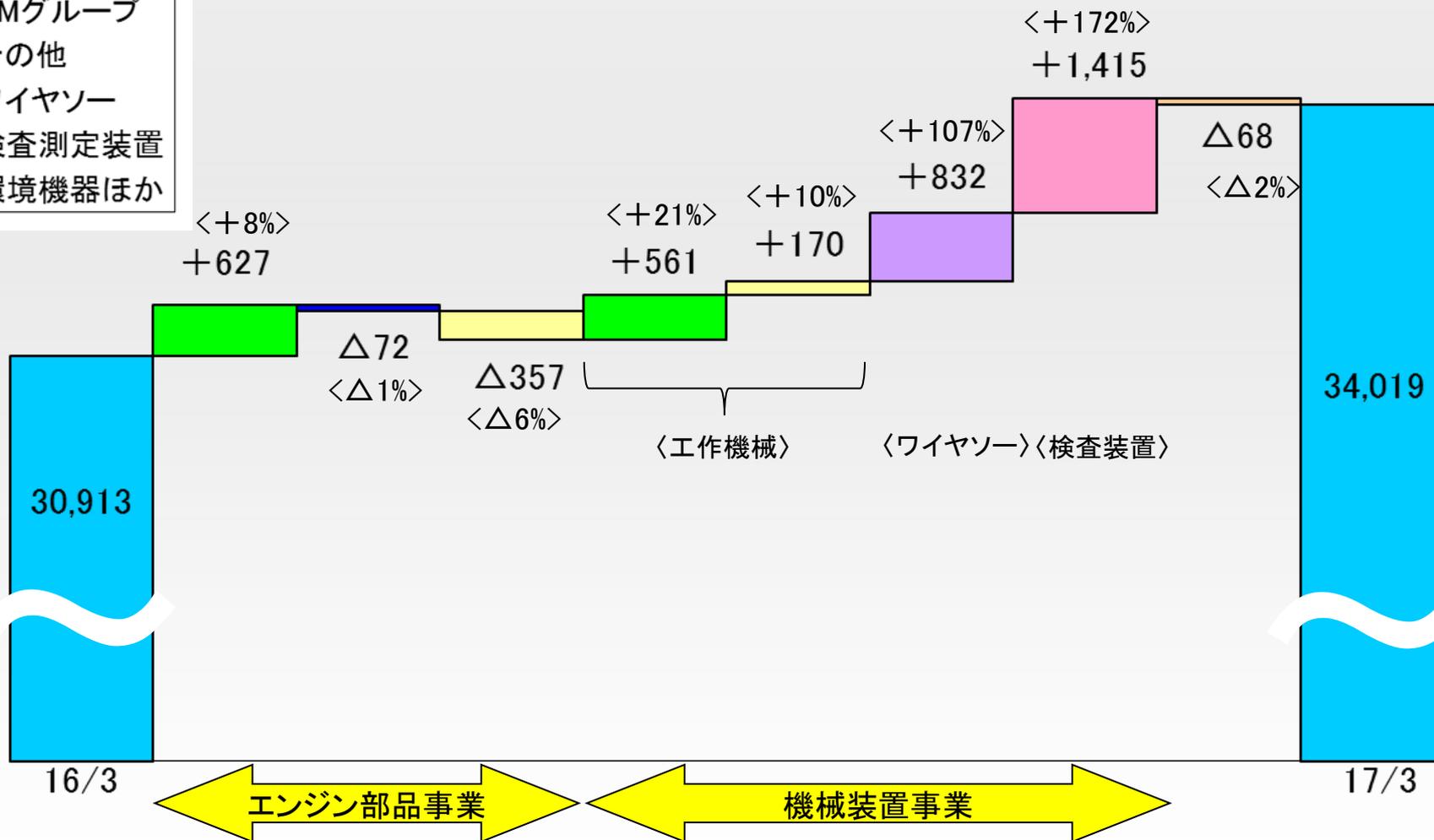
（単位：百万円）

	売上高			営業利益			売上増減内訳
	16年3月期	17年3月期	対前年増減	16年3月期	17年3月期	対前年増減	
エンジン部品	20,975 (67.9%)	21,173 (62.2%)	197 (0.9%)	172 (0.8%)	676 (3.2%)	504 (292.3%)	トヨタグループ + 6.2億 (内、タイ工場分 + 7.8億) GMグループ △ 0.7億 三菱自工 △ 1.9億
機械装置	5,943 (19.2%)	8,919 (26.2%)	2,976 (50.1%)	△ 155 (△2.6%)	354 (4.0%)	509 -	工作機械 +7.3億 ワイヤソー +8.3億 検査測定装置 +14.1億
環境機器	3,653 (11.8%)	3,589 (10.6%)	△ 63 (△1.7%)	297 (8.1%)	387 (10.8%)	90 (30.4%)	エアープンプ △0.6億
その他・調整	340	336	△ 3	59	50	△ 8	
合計	30,913 (100.0%)	34,019 (100.0%)	3,106 (10.0%)	373 (1.2%)	1,469 (4.3%)	1,095 (293.3%)	

決算概要：連結売上高増減要因（得意先別）

（単位：百万円） < >は対前年伸び率

- トヨタグループ
- GMグループ
- その他
- ワイヤソー
- 検査測定装置
- 環境機器ほか



決算概要：損益計算書の状況（連結）

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		増減率(%)	増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
売上高	30,913	100.0%	34,019	100.0%	10.0%	3,106
売上原価	27,240	88.1%	29,258	86.0%	7.4%	2,017
販管費	3,298	10.7%	3,291	9.7%	△0.2%	△ 7
営業利益	373	1.2%	1,469	4.3%	293.3%	1,095
営業外収益	82	0.3%	150	0.4%	81.6%	67
営業外費用	614	2.0%	493	1.5%	△19.6%	△ 120
内、支払利息	156	0.5%	159	0.5%	2.1%	3
内、為替差損	372	1.2%	211	0.6%	△43.3%	△ 161
経常利益	△ 158	△0.5%	1,125	3.3%	—	1,283
税前当期純利益	△ 296	△1.0%	1,071	3.2%	—	1,368
法人税等合計	317	1.0%	730	2.1%	129.9%	412
内、法人税等調整額	114	0.4%	172	0.5%	51.3%	58
当期純利益	△ 614	△2.0%	341	1.0%	—	956

決算概要：貸借対照表の状況（連結）

（単位：百万円）

	2016年3月期	2017年3月期	増減額
流動資産	16,915	17,253	338
固定資産	16,053	16,136	83
資産合計	32,968	33,389	421
流動負債	13,344	13,982	638
固定負債	9,392	8,886	△ 506
純資産	10,232	10,520	288
負債・純資産合計	32,968	33,389	421
有利子負債	14,765	14,253	△ 511
自己資本比率	31.0%	31.5%	0.5P
1株当たり純資産	855.27円	879.38円	24.11円

主たる増減	
流動資産	
受取手形・売掛金	+648百万円
固定資産	
有形固定資産	△758百万円
投資その他の資産	+855百万円
流動負債	
短期借入金	+ 550百万円
未払法人税等	+326百万円
固定負債	
長期借入金	△281百万円
社債	△220百万円
純資産	
利益剰余金	+246百万円

決算概要：キャッシュ・フローの状況（連結）

(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,395	2,232	836
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,885	△ 1,977	△ 92
財務活動による キャッシュ・フロー	1,315	△ 543	△ 1,858
現金及び現金同 等物の増減額	742	△ 361	△ 1,104
現金及び現金同 等物の期末残高	3,846	3,485	△ 361

POINT (主たる要因)

営業活動によるCF	減価償却費	+ 1,918
	税金等調整前当期純利益	+ 1,071
	仕入債務の増加	+ 323
	売上債権の増加	△ 1,166
投資活動によるCF	有形固定資産の取得	△ 1,812
財務活動によるCF	有利子負債の減少	△ 511

有利子負債の状況（連結）

（単位：百万円）

	2016年3月末	2017年3月末
有利子負債（D）	14,765	14,253
現金及び預金	4,079	3,625
ネット有利子負債（D）	10,686	10,628
純資産（E）	10,232	10,520
D/E レシオ	1.44倍	1.35倍
ネット D/E レシオ	1.04倍	1.01倍

- トピックス
- 2017年3月期決算概要
- **2018年3月期業績予想**
- 第5次中期経営計画



業績予想：2018年3月期売上高・利益の予想（連結）



（単位：百万円）

	2017年3月期	2018年3月期(予想)			対前年 増減率
	通期	上期	下期	通期	
売上高	34,019	16,300	16,700	33,000	△3.0%
営業利益	1,469	350	390	740	△49.6%
(対売上比)	(4.3%)	(2.1%)	(2.3%)	(2.2%)	
経常利益	1,125	280	290	570	△49.4%
(対売上比)	(3.3%)	(1.7%)	(1.7%)	(1.7%)	
当期純利益	341	120	130	250	△26.8%
(対売上比)	(1.0%)	(0.7%)	(0.8%)	(0.8%)	

業績予想：セグメント別売上高・利益の予想（連結）



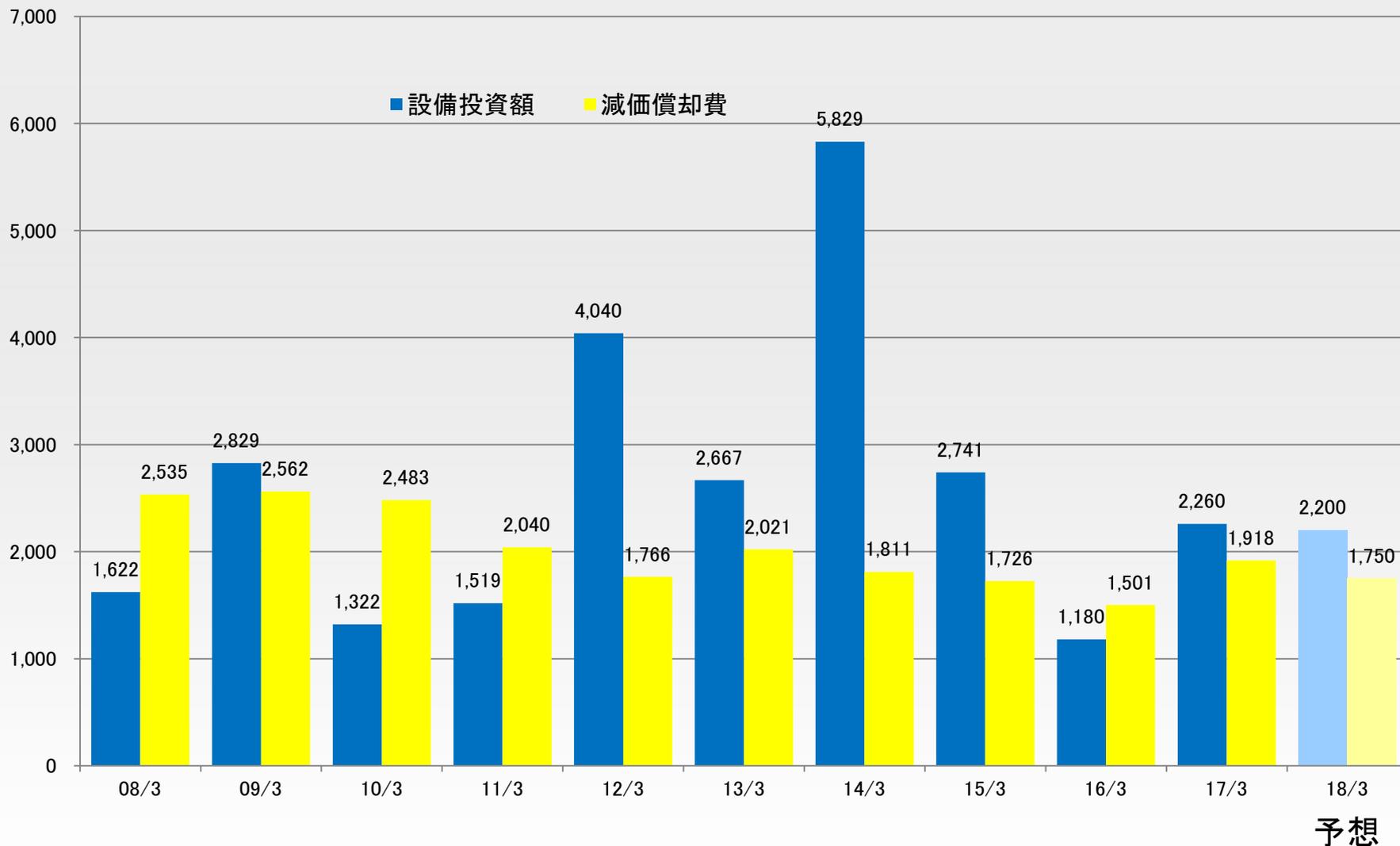
売上高の（ ）は構成比％ 営業利益の（ ）は営業利益率％

（単位：百万円）

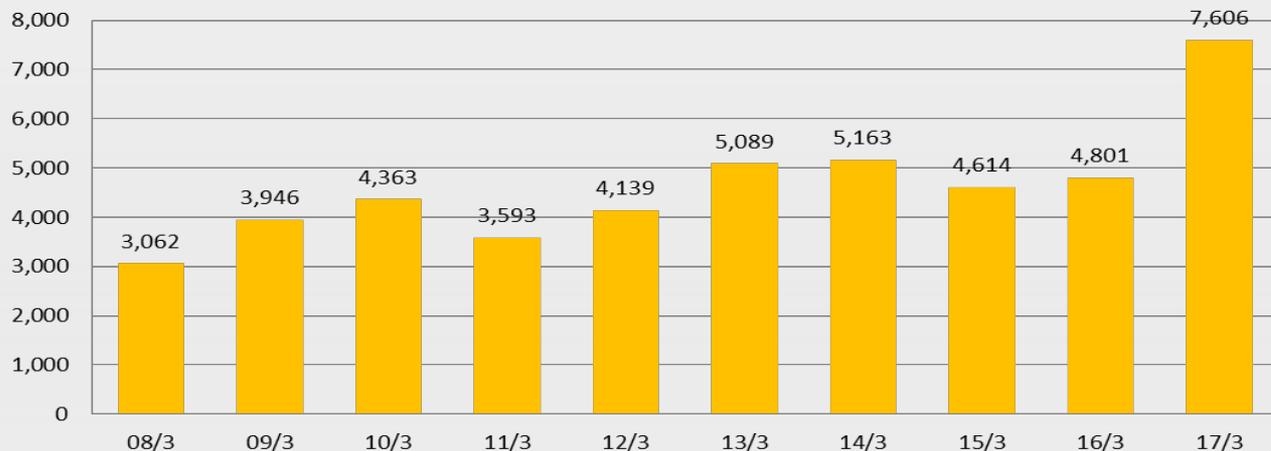
	売上高				営業利益			
	17年3月期 実績	18年3月期 予想			17年3月期 実績	18年3月期 予想		
		上期	下期	通期		上期	下期	通期
エンジン部品	21,173 (62.2%)	9,900 (60.7%)	10,500 (62.9%)	20,400 (61.8%)	676 (3.2%)	40 (0.4%)	180 (1.7%)	220 (1.1%)
機械装置	8,919 (26.2%)	4,330 (26.6%)	4,500 (26.9%)	8,830 (26.8%)	354 (4.0%)	100 (2.3%)	160 (3.6%)	260 (2.9%)
環境機器	3,589 (10.6%)	1,910 (11.7%)	1,540 (9.2%)	3,450 (10.5%)	387 (10.8%)	200 (10.5%)	40 (2.6%)	240 (7.0%)
その他・調整	336	160	160	320	50	10	10	20
合計	34,019 (100.0%)	16,300 (100.0%)	16,700 (100.0%)	33,000 (100.0%)	1,469 (4.3%)	350 (2.1%)	390 (2.3%)	740 (2.2%)

設備投資・減価償却費の推移

(単位:百万円)



<株主数の推移>



<配当金の推移>

■ 1株当たり年間配当金 — EPSの推移



- トピックス
- 2017年3月期決算概要
- 2018年3月期業績予想
- **第5次中期経営計画**



基本戦略

～「グローバルニッチNo.1」を積み重ねて～

1. グローバルニッチNo.1

- ◇各事業体の取組み ⇒ 地域No.1、顧客No.1、製品No.1の達成／強化
- ◇グローバル地域の充実 ⇒ インドネシア・タイ・韓国工場の安定成長
メキシコ工場の生産体制確立～本格稼働
中国二拠点を活用した製販・サービス強化

2. 新事業の創出

- ◇『二次電池関連技術』『熱電発電素子関連技術』を一層高めるとともに、試作販売を通じた事業化を目指す

3. 財務体質の強化

- ◇「自己資本比率」と「ROE」の向上

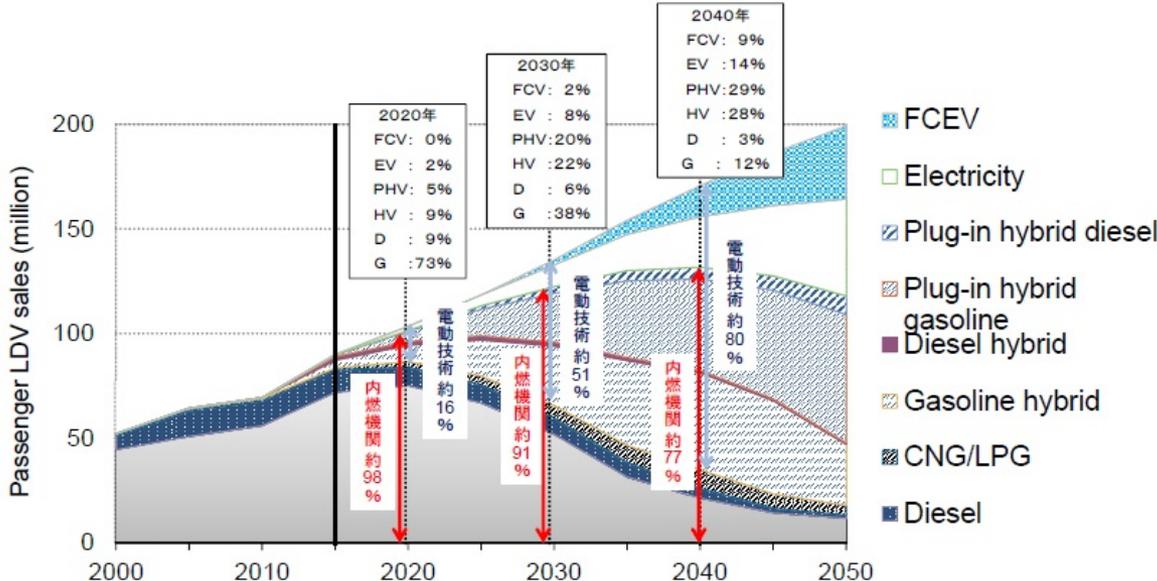
第5次中期経営計画（2017年度～2019年度）

事業戦略

エンジン部品事業

- ◇自動車メーカーの生産体制に合わせた、生産拠点の体制強化を進める。
- ◇主力のコネクティングロッドは、先進国、新興国のいずれにおいても、あらゆる素材・工法に対応。

車種別販売台数(世界)の将来予測



当社拠点におけるコネクティングロッド生産対応

材料	工法	先進国	新興国
鍛造材	切断	○	○
	かち割り	○	○(※)
焼結材	切断	○(※)	○
	かち割り	○	○(※)

(※)は第4次中計の期間に新たに加わったカテゴリー



出典：「自動車産業を巡る構造変化とそれへの対応について」平成27年11月 経済産業省製造産業局自動車課

事業戦略

機械装置事業

- ◇独創的なコア技術と原価力および生産性の更なる向上で、最適なモノづくりを創出し、顧客ニーズに合った製品を提供。
- ◇特に自動車・車載半導体の市場で、商品提案 および受注活動を強化。



工作機械



ワイヤソー



検査測定装置

事業戦略

環境機器事業

- ◇「浄化槽用エアープンプ」「燃料電池用エアープンプ」「ディスポーザ」の3本柱で、更なるシェア向上に努め、環境分野で社会に貢献。
- ◇特に「浄化槽用エアープンプ」は、海外市場において、米国でのシェア拡大と東南アジアでの販売基盤の確立に注力。



浄化槽用エアープンプ



燃料電池用エアープンプ



ディスポーザ

事業戦略

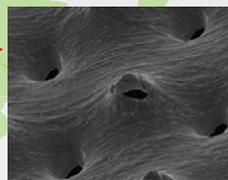
新事業創出

◇『二次電池関連技術』

リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンキャパシタ向けの
ビジネスモデル構築と、小規模量産開始を目指す。



微細穴明き集電箔



拡大画像



評価用セル

◇『熱電発電素子関連技術』

生産技術構築と、顧客への当社熱電発電素子および熱電発電モジュール
の採用を目指す。



熱電発電素子



評価用モジュール

海外拠点の近況

山東安永精密機械有限公司
(中国・山東省泰安市)

工作機械、治具等の製造・販売

- ・17年度、設備投資を実施し、品質向上、原価低減の取組みを強化

韓国安永(株)
(韓国・全羅北道益山市)

エンジン部品の製造・販売

- ・コンロッド既存ラインへの新機種追加(18年7月量産開始予定)

安永アメリカ(株)
(アメリカ・ミシガン州)

エンジン部品の販売

- ・米ビッグスリー向け営業活動
- ・メキシコ新会社サポート

上海安永精密切割機有限公司
(中国・上海市)

ワイヤソー、検査測定装置、消耗部品の販売・サービス

- ・15年度よりワイヤソーに加え、太陽電池向け、半導体向け検査測定装置のサービスを開始

安永メキシコ(株)
(メキシコ・ハリスコ州)

エンジン部品、工作機械の製造・販売

- ・15年7月会社設立
- ・16年11月工場建屋完成
- ・18年夏操業開始に向け準備中

安永タイ(株)
(タイ・ラヨーン県)

エンジン部品、工作機械の製造・販売

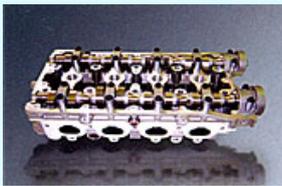
- ・日系自動車メーカーからコンロッドの初受注決定(18年2月量産開始予定)

安永インドネシア(株)
(インドネシア・セラン県)

エンジン部品、エアープンプの製造・販売

- ・日系自動車メーカーからコンロッドの初受注決定(17年9月量産開始予定)

エンジン部品の新規商談状況

製品名		18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期
コンロッド 	国内	● ●	●	● ●	●
	海外	● ●	● ● ●	● ●	
シリンダーヘッド 	国内			●	
	海外				
その他 	国内			●	
	海外		●		

2019年度(最終年度) 連結業績目標値

(単位:百万円)

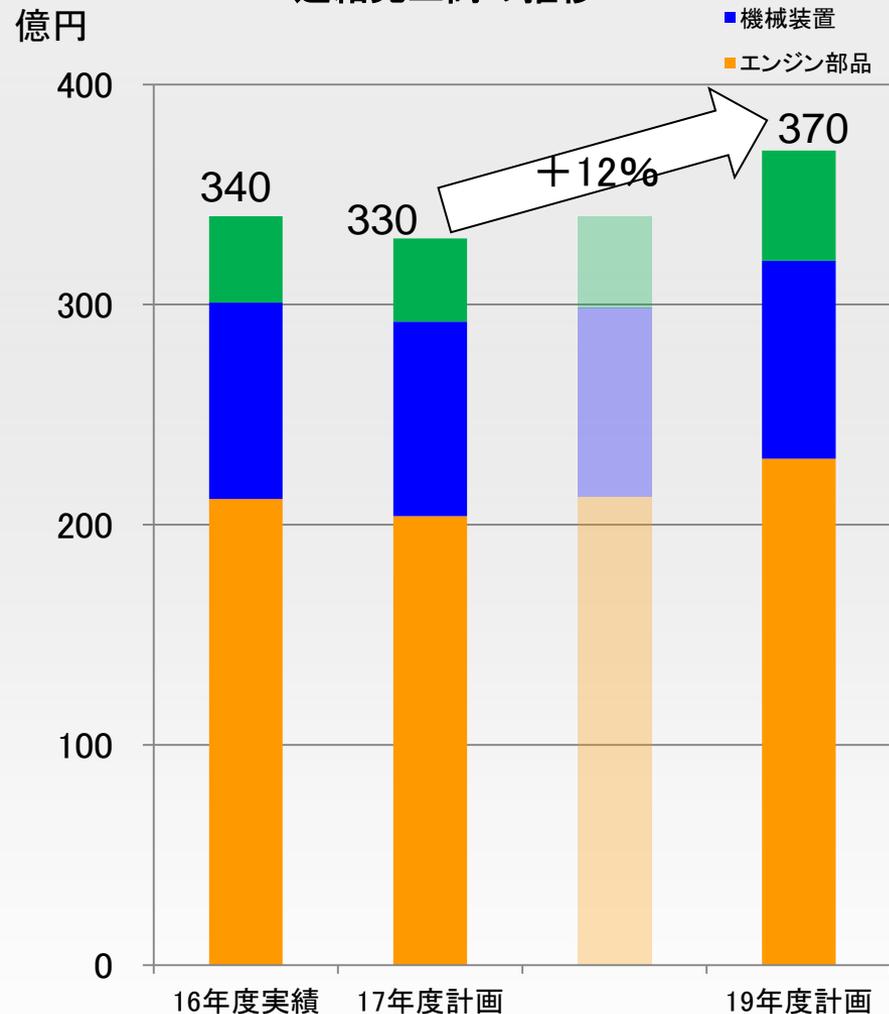
	売上高	営業利益	営業利益率
エンジン部品事業	23,000	700	3.0%
機械装置事業	9,000	650	7.2%
環境機器事業ほか	5,000	500	10.0%
合計	37,000	1,850	5.0%

連結財務ベースの長期的な数値目標

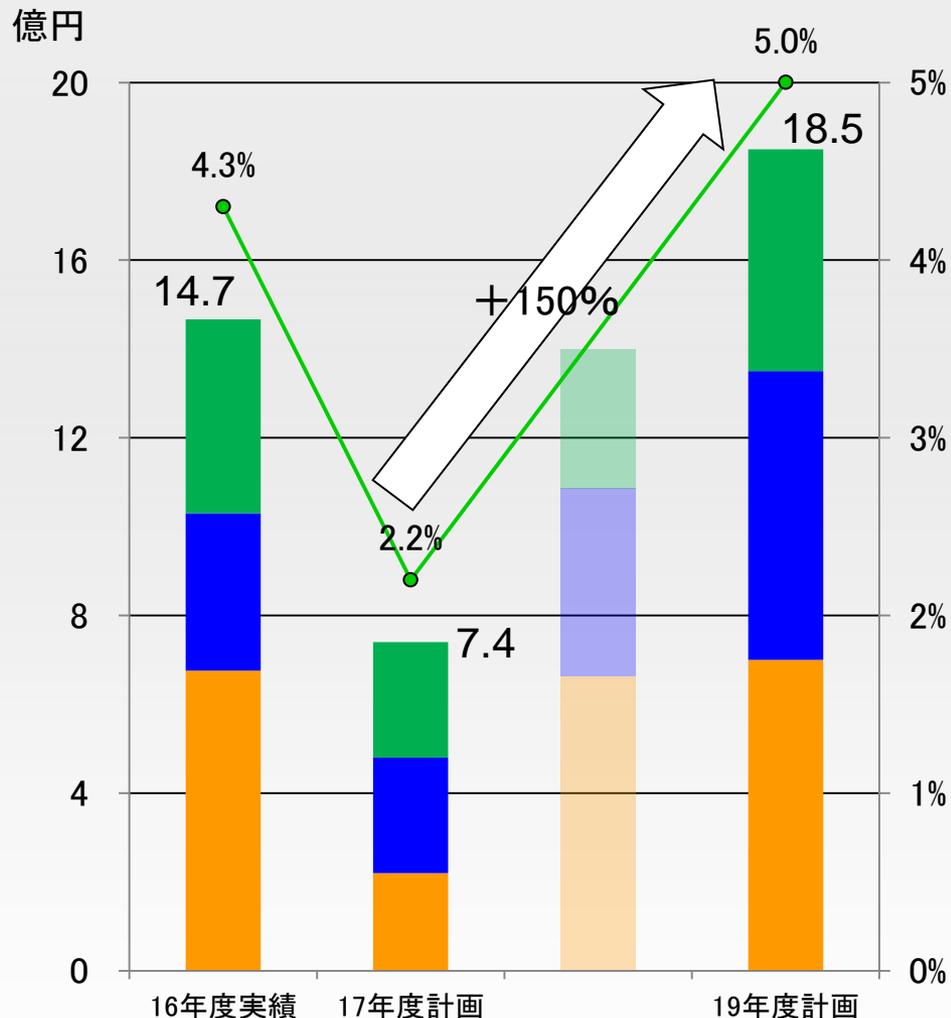
自己資本比率	ROE (自己資本利益率)
40%以上	継続的に10%以上

連結売上高の推移

- 環境機器他
- 機械装置
- エンジン部品



連結営業利益と営業利益率の推移



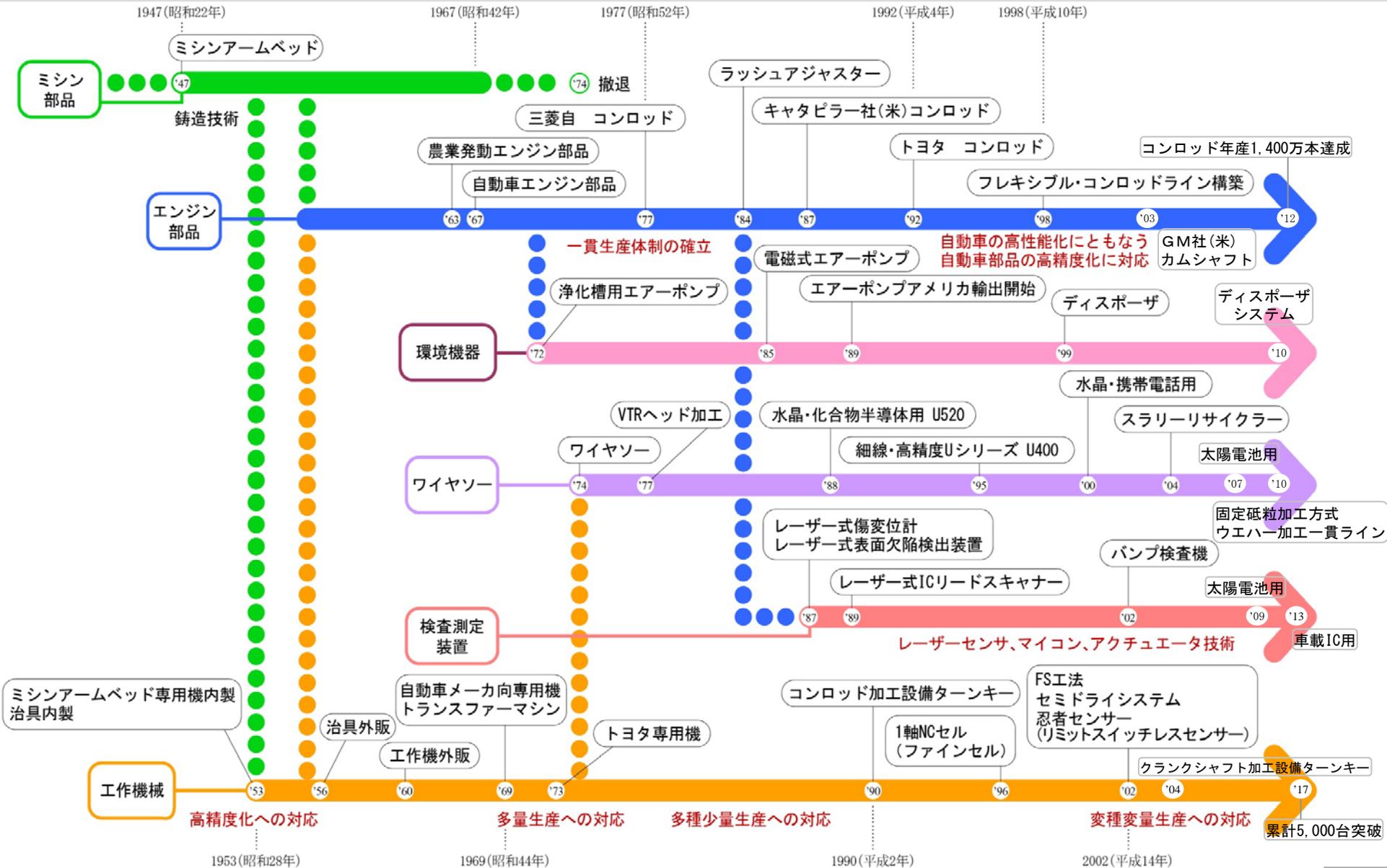
第5次中計

第5次中計

- **設 立** : 1949年9月(昭和24年)
- **代表者** : 代表取締役社長 安永 暁俊
- **上 場** : 東京証券取引所 第一部 (2014年6月12日)
1単元の株式数 100株
- **事業内容** : エンジン部品、機械装置(工作機械、ワイヤソー、検査測定装置)、
エアープンプ及びディスプレイシステムの製造・販売
- **資本金** : 21億42百万円 <2017年3月期>
- **売上高** : 340億19百万円(連結) <2017年3月期>
- **従業員** : 1,694名(連結) <2017年3月31日現在>
- **事業所** : 本社(三重県伊賀市)
工場(伊賀市4、名張市1)
- **関連会社** : 国内 4社、海外 7社(6ヶ国)

製品技術の歩み

補足資料②



事業領域 エンジン部品事業



補足資料③

自動車メーカーが
内製している
エンジン部品を
当社が生産

エンジン内部に組み込まれる
部品の生産・加工

エンジンの性能、
機能を熟知

高品質、低コストの
製品づくりを提案

【主要取引先】
トヨタ自動車、GMPT、韓国GM、
三菱自動車工業、ダイハツ工業、
三菱重工業、三菱ふそうトラック・バス、
クボタ、FCA、スズキ、
GM HOLDEN等

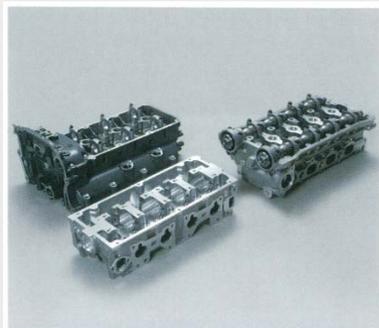
(%)はエンジン部品
製品別売上比率

【16年3月→17年3月】



01 コネクティングロッド Connecting rod (48→51%)

トヨタ、ダイハツ、三菱自、三菱ふそう、
FCA



02 シリンダーヘッド Cylinder head (12→12%)

韓国GM、スズキ、三菱重工、クボタ、
トヨタ



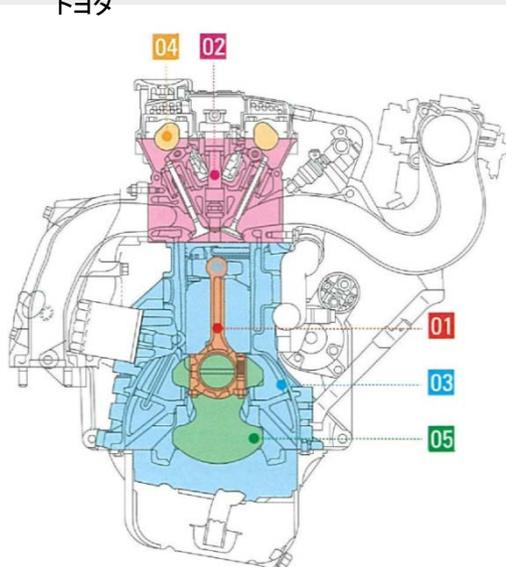
03 シリンダーブロック Cylinder block (14→12%)

ダイハツ、三菱重工、スズキ



04 カムシャフト Camshaft (18→18%)

GMPT、GMHOLDEN



その他(7→7%)



05 クランクシャフト Crankshaft (1→0%)

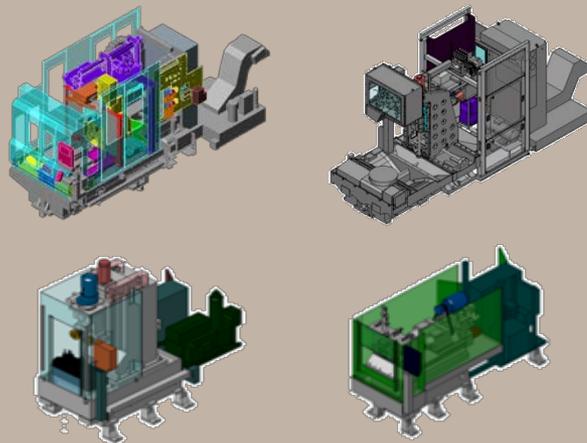
韓国GM

専用機の
豊富な経験から
標準機を開発

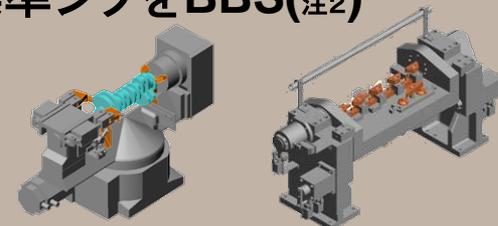
部品事業の
生技ノウハウを
開発、設計に
盛り込む

セルマシン(注1)で多くの実績

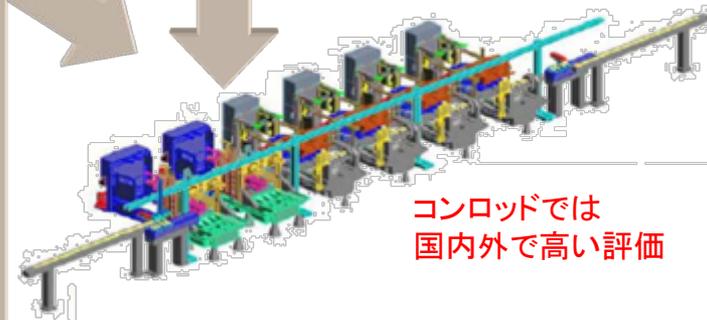
コンロッド、軸物(カムシャフト、
クランクシャフト)加工設備



標準ジグをBBS(注2)



専用機で培ったノウハウを標準化



コンロッドでは
国内外で高い評価

ターンキー受注に対応可能

注1: 工程特化型マシニングセンター

注2: Build Block Systemでセルマシンに組付け

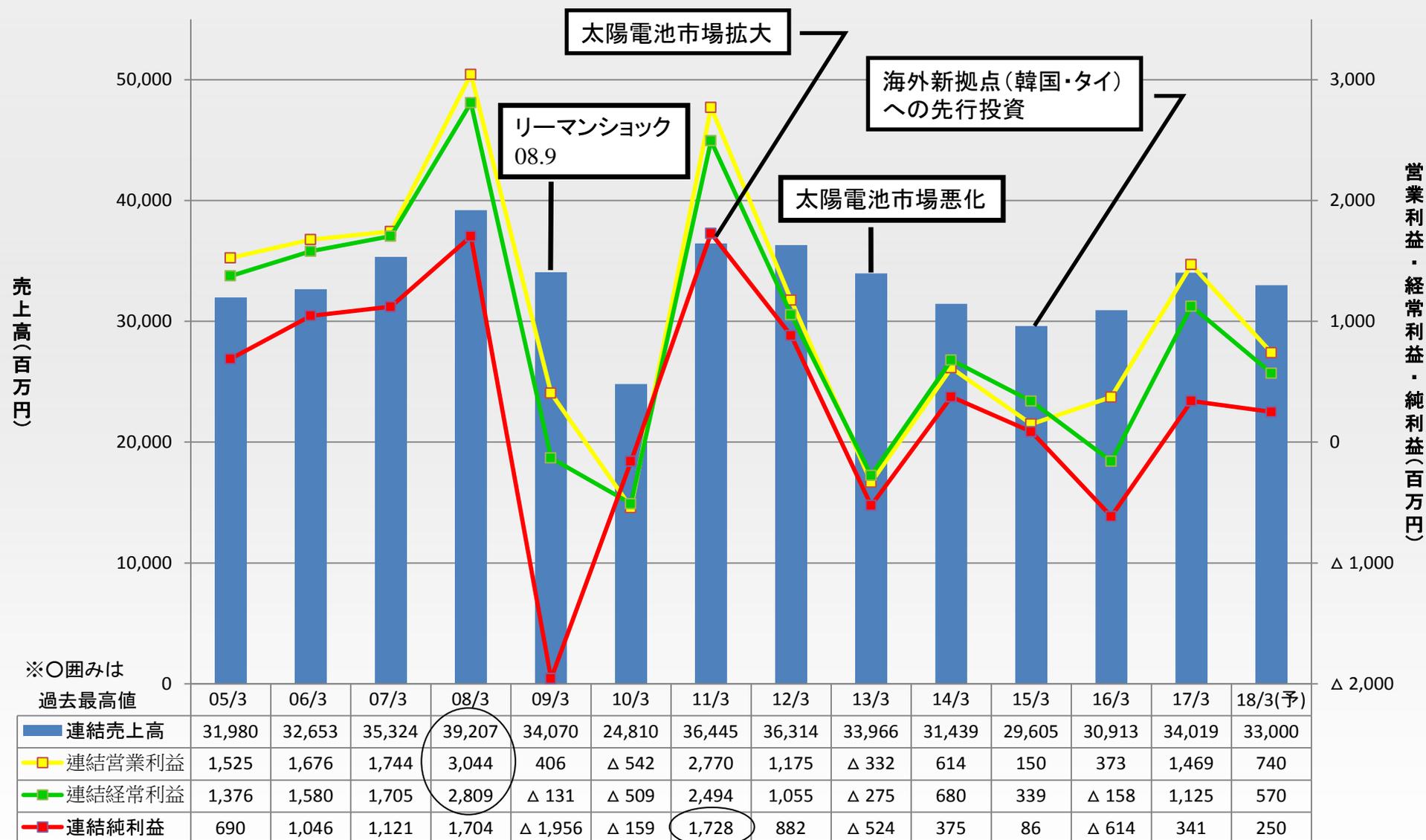
低コスト、高品質の製品づくりを提案

【主要取引先】

国内自動車メーカー及び関連メーカー(トヨタ系、日産系など)
海外自動車メーカー(中国、韓国など)

売上高・利益の推移（連結）

補足資料⑤



太陽電池市場拡大

リーマンショック
08.9

海外新拠点（韓国・タイ）
への先行投資

太陽電池市場悪化

営業利益・経常利益・純利益（百万円）

※○囲みは過去最高値